

2018
新年のあいさつ



宝の都(くに)・大崎 笑顔あふれる未来へ向けて



大崎市長
伊藤 康志

あけましておめでとうござ
います。
皆様には、ご家族おそろい
で、お健やかに新春をお迎え
のことと、心からお慶び申し上
げます。

東日本大震災から間もな
く7年を迎えますが、これま
で本市の震災復興計画に基づ
き、復興を最優先課題として
取り組んできました。
震災の経験を決して風化さ
せることなく、震災から学ぶべ
きことを今後の自然災害なら
びに防災対策に生かし、市民

の安全で安心な生活を実現し
ていきます。

また、これまで復興への支援
を頂戴しました皆様への感謝
のためにも、復興し、さらなる
発展を遂げることができると
う努めていきます。

震災復興計画は本年度を
もって終了いたしますが、今後
は、本市の新たな10年のまち
づくりの指針となる「第2次
大崎市総合計画」を着実に進
め、市民協働のまちづくりの
理念のもと、より魅力あるま
ちづくりに取り組んでいきま
す。
また、人口減少による社会

情勢の変化が大きな課題とな
る中で、「宝の都(くに)・おさ
き市地方創生総合戦略」にお
きましては、本市の豊かな地
域資源、地域の力を集結し、持
続可能な地域社会を築き、未
来の子どもたちの笑顔あふれ
る将来を創造していきます。

そのためには、社会経済情
勢や人口構造の変化が与える
影響や市民ニーズを的確に把
握し、将来の安定した財政運
営を図るために、第2次行政
改革大綱への不断の取り組み
により、財政の健全化をさら
に推進していきます。
昨年末、待望の「世界農業遺

産」認定の吉報が届きました。
先人の知恵と努力によって

築かれた豊饒の大地「大崎耕
土」と、その農業システムの重
要性が世界に認められたもの
であり、大変名誉なことです。
さらに、国の重要文化財に
田尻地域の木造千手観音坐像
が指定を受け、まさに、本市の
宝となりました。

また、市民待望の大崎市図
書館「来楽里ホール」が開館
し、豊かな心をはぐくむ生涯
学習の場として、今後も皆様
に愛される図書館となるよう
、さらには、学びと交流の場
となるよう運営していきま
す。

市民が主役 協働のまちづくり

共にはぐくむ協働のまちづ
くりを基本とし、地域自治組
織の体制強化と地域で支え
る仕組みづくりを推進するた
め、地域自治組織戦略体制整
備モデル事業を推進します。
市民の生活を支える行財政
改革の推進を図り、効率的で
効果的な行政運営を進めま
す。

また、市民皆様の理解を得
ながら、市役所本庁舎、鳴子
総合支所、田尻総合支所庁舎

の建設事業を推進していきま
す。

安全・安心で交流が 盛んなまちづくり

円滑な道路環境の整備のた
め、道路網ならびに橋梁など
の計画的な整備を推進してい
きます。

快適に暮らせる公共交通の
充実・強化のため、中心市街地
の循環バスを運行するなど、
公共交通ネットワークを形成
していきます。

防災対策の強化として、頻
発する自然災害や防災対策、
河川を含めた雨水対策も万全
を期し、排水路改良整備事業
などに取り組んでいきます。

地域の個性を生かし 豊かな心をはぐくむ まちづくり

未来を担う子どもたちの教
育環境の充実として、安全、安
心な給食の提供と地産地消の
推進に取り組み、(仮称)大崎
東学校給食センターの整備に
着手します。

多彩な地域文化の継承とし
て、田尻地域の国指定重要文
化財木造千手観音坐像の保存
などについて、田尻総合支所
建設事業とともに、保存整備

を進めていきます。

生涯にわたるスポーツ・レ
クリエーションの振興につぎ
ましては、三本木パークゴルフ
場整備事業を推進し、幅広い
世代の交流とスポーツに親し
める環境の整備に努めます。

活力あふれる産業の まちづくり

誇りある農業の振興につぎ
ましては、農業基盤整備事業
などを整備するとともに、「さ
さ結」の食味、品質の向上、プ
ラント力の強化に向けて、こ
だわり農産物PR推進事業を推
進していきます。

世界農業遺産の認定は、大
崎耕土の宝を次世代に引き継
ぐ出発点であり、地域を挙げ
てアクションプランを実践し、
さらなる自然と共生する農業
の推進を目指していきます。

訪れたいくなる観光の振興に
つきましては、観光振興ビジョ
ンに基づき、インバウンドの強
化、シテイプロモーション強化
に努め、本市の宝に磨きをか
けていきます。

魅力ある地域資源の活用と
産業の連携につぎましては、
農商工連携、6次産業化によ
る内発型産業の創造を推進し
ていきます。

地域で支えあい 健康で元気な まちづくり

生涯を通じた健康づくりの
推進に向け、いきいき百歳体
操の普及活動を推進し、子ど
もから高齢者まで健康で生き
がいのある生活が送れるよう、
第2次大崎市健康増進計画を
策定していきます。

また、すべての親と子どもが
心身ともに健やかに成長を重
ね、豊かな生活を送れるよう、
第2次大崎市母子保健計画を
策定していきます。

環境の変化に対応した子育
て支援の充実につぎましては、
子育て支援拠点施設建設事業
を推進し、平成31年度の開設
に向け鋭意取り組んでいきま
す。

自然と共生し環境に 配慮したまちづくり

豊かな自然環境の保全に向
けた取り組みを行い、身近に
触れ合える憩いの場の整備に
つきましては、七日町再開発
事業において、商業、公共、観
光機能が一体的に連携し、にぎ
わい拠点の形成に向け、千手
寺町周辺整備事業、(仮称)道
の駅おおさき整備事業と併せ

て取り組んでいきます。

て都市機能の充実に努めてい
きます。
快適な生活環境の保全整
備につぎましては、上鳴子住
宅と鹿島台鈴掛住宅建替事業
を推進するなど、良好な住環
境の整備に努めていきます。
地球に優しい循環型社会の
実現につぎましては、再生可
能エネルギーの利活用に取り
組んでいきます。

12年前の戌年である2006
年(平成18年)は、大崎市が誕
生した記念すべき年でありま
した。

今年の干支「戌(いぬ)」は、
「ほ」の漢字から成り立ち、収
穫物を守り育てる時期を表し
ています。2018年は、すべ
てに豊かであることを目指し、
守り育て発展する年となるよ
う一層努めていきます。

市民皆様におかれまして
も、本年がより良い年であり
ますよう心から祈念申し上
げ、新年のあいさつとします。

